

特集：2013北東アジア経済発展国際会議(NICE)イン新潟 プログラム

開催日 2013年3月18日(月)～19日(火)

会場 朱鷺メッセ(新潟市中央区)

主催 北東アジア経済発展国際会議実行委員会(新潟県、新潟市、ERINA)

後援 外務省、経済産業省、国土交通省、新潟大学、駐日中華人民共和国大使館、駐日モンゴル国大使館、駐日大韓民国大使館、駐日ロシア連邦大使館、社団法人東北経済連合会、社団法人新潟県商工会議所連合会、新潟経済同友会、日本海沿岸地帯振興連盟、財団法人いがた産業創造機構、社団法人新潟青年会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、新潟日報社、毎日新聞社、朝日新聞社、日本経済新聞社新潟支局、読売新聞社新潟支局、産経新聞新潟支局、共同通信社、時事通信社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO

参加者 のべ約250名

■オープニングセッション 北東アジアの新潮流

3月18日(月) 13:00～15:30 【スノーホール】

○歓迎あいさつ

新潟知事

泉田裕彦

新潟市副市長

塚田桂祐

○来賓あいさつ

経済産業省通商政策局北東アジア課長

高木誠司

外務省欧州局ロシア課企画官

野口秀明

○基調講演

「北東アジアの歴史と平和的発展」

評論家

孫崎享

「日中経済交流の現状と課題」

中央大学大学院戦略経営研究科教授

服部健治

「地域の発展とロシアのWTO加盟」

ロシア沿海地方議会議長

ビクトル・ゴルチャコフ

■セッションA WTO加盟・APEC開催後のロシア

3月18日(月) 15:45～17:45 【スノーホール】

○報告

ジェトロ海外調査部主幹

梅津哲也

ロシア極東商工会議所会頭

イーゴリ・ポストリコフ

富山大学極東地域研究センター副センター長、教授

堀江典生

新潟大学経済学部准教授

道上真有

ハバロフスク日本センタービジネスマンクラブ代表代理

サラワト・スレイマーノフ

極東ザバイカル経済協力協会事務総長筆頭代理

アナトーリイ・ブルイ

○モデレーター

ERINA副所長

杉本侃

■セッションB アジア太平洋地域の経済統合と日中韓

3月19日(火) 9:45～11:45 【スノーホール】

○報告

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授

浦田秀次郎

中国社会科学院APEC・東アジア協力研究センター副主任、秘書長

沈銘輝

韓国仁荷大学校経済学部教授

チョン・インキョ

新潟大学大学院現代社会文化研究科准教授

張雲

○モデレーター

ERINA調査研究部主任研究員

中島朋義

■セッションC エネルギー協力

3月19日(火) 13:15~15:15 【スノーホール】

○報告

ロシア科学アカデミー・エネルギー研究所副所長

ウラジーミル・リハチョフ

中国国家発展・改革委員会エネルギー研究所所長補佐、科研管理課長

高世憲

韓国エネルギー経済研究院副院長

ムン・ヨンソク

日本エネルギー経済研究所研究主幹

伊藤庄一

モンゴル戦略研究所研究員

Ch. オユンジャラガル

○情報提供

ロシア・ポストーチヌイ港社長

アナトーリイ・ラザレフ

○モデレーター

ERINA調査研究部主任研究員

新井洋史

■セッションD 開発金融協力

3月19日(火) 15:30~17:30 【スノーホール】

○報告

アジア開発銀行(ADB)首席エコノミスト

ジン・シン

国際協力銀行執行役員、インフラ・ファイナンス部門長

前田匡史

外国貿易銀行ハバロフスク支店長

エフゲニー・オルロフ

韓国国際金融センター理事長

ハン・テクス

○モデレーター

ERINA調査研究部長

三村光弘

■クロージングリマーク

3月19日(火) 17:30~17:45 【スノーホール】

北東アジア経済発展国際会議実行委員、ERINA代表理事

西村可明

本特集は、「2013北東アジア経済発展国際会議イン新潟」の内容を当日の録音及び資料をもとにまとめたもので、文責はERINAにある。関係各国名は中華人民共和国を中国、朝鮮民主主義人民共和国を北朝鮮、モンゴル国をモンゴル、大韓民国を韓国、ロシア連邦をロシアとそれぞれ表記した。また、各人の発言における日本海/東海の呼称やその他地名に関しては録音をもとに表記した。なお、北朝鮮・韓国では「日本海/Japan Sea」を「東海/East Sea」と表記している。